



令和2年
(2020年)

11/7

あんど



8月3日 安堵小学校6年生が議場体験をしていただきました！

令和2年 9月定例会

審議案件	2
委員会報告	3～5
一般質問 (6名の議員が一般質問を行いました)	6～11
議会のうごき、次回の定例会予定	12

※表紙の写真は、プライバシー保護のため画像処理を行っています。

令和2年9月定例会

第3回定例会を9月2日から18日までの17日間で開催しました。

	議 案	会 議 結 果
報告第 1号	介護保険条例の一部改正〈専決〉	満場一致承認
報告第 2号	令和2年度一般会計補正予算(第3号)〈専決〉	満場一致承認
報告第 3号	令和2年度一般会計補正予算(第4号)〈専決〉	満場一致承認
議案第 1号	教育委員会委員の任命同意	満場一致可決
議案第 2号	安堵町消防賞じゅつ金基金条例の設置、管理及び処分に関する条例の廃止	満場一致可決
議案第 3号	介護保険条例の一部改正	満場一致可決
議案第 4号	後期高齢者医療に関する条例の一部改正	満場一致可決
議案第 5号	令和2年度一般会計補正予算(第5号)	満場一致可決
議案第 6号	令和2年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)	満場一致可決
議案第 7号	令和2年度奈良県共同調達したパソコン等の購入契約の締結	満場一致可決
議案第 8号	令和2年度奈良県共同調達したパソコン等(教育委員会)の購入契約の締結	満場一致可決
議案第 9号	奈良県域GIGAスクール構想実現のための情報端末機器売買契約 (令和元年度補正予算)の締結	満場一致可決
議案第10号	奈良県域GIGAスクール構想実現のための情報端末機器売買契約 (令和2年度補正予算)の締結	満場一致可決
発議第 1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保を求める意見書	満場一致可決
認定第 1号	令和元年度一般会計歳入歳出決算	満場一致認定
認定第 2号	令和元年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算	満場一致認定
認定第 3号	令和元年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算	満場一致認定
認定第 4号	令和元年度下水道事業特別会計歳入歳出決算	満場一致認定
認定第 5号	令和元年度介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算	満場一致認定
認定第 6号	令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	満場一致認定
認定第 7号	令和元年度水道事業会計決算	満場一致認定
報告第 4号	令和元年度決算に係る健全化判断比率報告書	報告
報告第 5号	令和元年度決算に係る資金不足比率報告書	報告
報告第 6号	令和元年度土地開発公社決算の報告	報告

委員会等報告

総務産業建設常任委員会

委員長 松田 勝

○議案第5号「令和2年度安堵町一般会計補正予算(補正第5号)について」

〔全会一致可決〕

【報告概要】

議案説明後、三室休日応急診療所(斑鳩町)での発熱外来の設置は、西和7町による計画であり、1月末の工事完了を予定しています。との補足説明がありました。また、次の2点の質問①生駒郡または7町独自のPCRセンターの設置が必要ではないのか。②マイナンバーカード促進のための周知方法の検討が必要ではないのか。については今後検討を重ねていくこととなりました。

審議した結果、当委員会は全会一致で原案通り可決すべきものと決定した。

文教厚生常任委員会

委員長 浅野 勉

【報告概要】

①議案第9号「奈良県域GIGAスクール構想実現のための情報端末機器売買契約(令和元年度補正予算)の締結について」

〔全会一致可決〕

②議案第10号「奈良県域GIGAスクール構想実現のための情報端末機器売買契約(令和2年度補正予算)の締結について」

〔全会一致可決〕

③安堵町立学校の教育制度の望ましいありかたについて

〔概要報告〕

付託案件①と②については一括して詳細説明を受けた。

③安堵町立学校の教育制度の望ましいありかたについて

教育委員会の準備資料に基づき、

①義務教育学校、②小中一貫型小学校・中学校、③連携型小学校・中学校について、3つの類型毎の特徴、取り組まれてきた社会背景、実施するに当た

り教育現場の課題等の詳細説明を受けた。

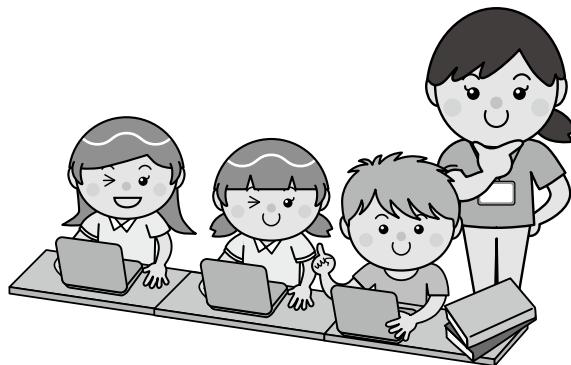
各委員から、それぞれの類型に関する意見が出された。

文教常任委員会として、「安堵町の魅力と特色ある教育の推進と発信のため」今後も継続審議を重ねていくことを確認して委員会を終了した。

★GIGAスクール構想とは

児童・生徒一人に1台のPC端末を準備し、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することにより、多様な子供達を誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力を確実に育成できる教育ICT(情報通信技術)環境を実現させる構想です。

我が国が培ってきた教育実践と最先端のICT教育環境の最適化により教師・児童生徒の能力を最大限に引き出す。



一般会計決算審査特別委員会

委員長 三浦 博

○認定第1号「令和元年度安堵町一般会計歳入歳出決算の認定について」〔全会一致認定〕

【報告概要】

(1) 監査委員の意見陳述と町長答弁について

審査に先立ち、①町税等の滞納額の縮小 ②公共交通対策事業 ③職員の健康管理 ④清掃業務の委託内容と契約金額 ⑤委託事業の契約方法の5点を中心に、安堵町財政健全化計画（令和元年11月策定）に反映されるよう意見陳述があり、町長から「審査意見書、行政監査報告の内容については真摯に受け止め、今後の行政に反映していく」旨の答弁があった。

(2) 審査方法と内容

①決算概要及び歳入歳出について、各担当課長より「所属別、事業成果の概要」に基づき、計画、実績、事業評価、改善点、と今後の取り組みの項目で説

明を受け、活発に質疑応答を行った。

②令和元年度収支決算

歳入総額

33億3806万2724円

歳出総額

32億820万5093円

歳入歳出差引額

1億2985万7631円

うち令和2年度への繰越明許費繰越額は5392万4120円、実質収入は、7593万3511円の黒字となった。

(3) 審査の結論

①「財政健全化計画」に基づいて、経常的経費の削減や臨時的事業の見直しの結果、決算総額は減少した。しかし前年度に続き、財政調整基金の繰り入れによって財政運営を行っている。

②持続可能な町づくり、行政サービスを提供するためには、引き続き財政健全化計画の実行、そして監査委員の意見陳述の内容は住民生活と福祉に直結する身近な課題が含まれています。

本特別委員会は、町行政とともに問題意識を共有し、議会として

での役割を果たして行くことを申し添える。

特別会計等決算審査特別委員会

委員長 浅野 勉

○認定第2号「令和元年度安堵町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について」から認定第7号「令和元年度安堵町水道事業会計歳入歳出決算の認定について」

〔全会一致認定〕

【報告概要】

9月2日、本会議で付託を受けた令和元年度安堵町特別会計等歳入歳出決算を審査するため、決算審査特別委員会を開催しました。

※令和元年度の単年度収支

4219万1754円

(2) 住宅新築資金等貸付事業

特別会計決算

歳入総額

98万8430円

歳出総額

2679万2392円

実質収支決算額

△2580万3962円

(3) 下水道事業特別会計決算

歳入総額、歳出総額共に

2億6708万9860円

前年度比

2035万6723円の減額。

(4) 介護保険特別会計

(保健事業勘定) 決算

歳入総額

7億2523万8087円

歳出総額

6億9288万3102円

実質収支決算額

3235万4985円

(5) 後期高齢者医療特別会計

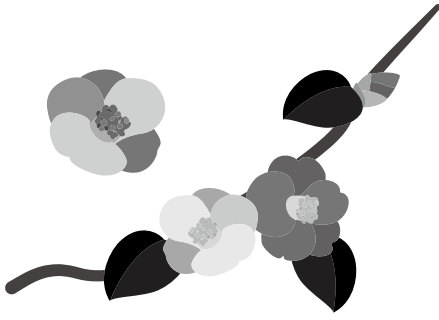
決算

歳入総額

98001万3352円

歳出総額

△2238万8603円
累積赤字の解消を図る。



・実質収支決算額	9796万152円
5万3200円	
(6) 水道事業会計決算	
〔収益的収支〕	
・水道事業収益	1億7676万5078円
・水道事業費	1億6057万1310円
・収支差引額	1619万3768円
〔資本的収支〕	
・資本的収入	804万6400円
・資本的支出	3506万9804円
・収支差引額	△2702万3404円

全 員 協 議 会

議長 福井保夫

○安堵町まち・ひと・しごと創
生総合戦略における基本目標
にこころ

【報告概要】

基本目標

(1) 安堵町で生き生きと働ける
環境づくりを創出する(町
内での就業者数増、遊休農
地を無くす、安堵町での創
業・企業者に対する就業支
援)

(2) 地域資源を活かした交流を
通じ、特色ある安堵町をつ
くる(観光戦略による内外
の流促進、観光資源の発掘・
開発、安堵町の魅力を発信)

(3) 「安堵町で新生活を始めた
い、いつまでも暮らしたい」
と思われる魅力あるまちを
つくる(安心して子供を産
み育てられる環境の充実、
地域の評価が高い学校教育
の充実、仕事と生活の調和
の実現、定住・移住の促進)

(4) 安堵町と近隣市町が連携し、

快適・便利な都市圏を創造
する。(利便性の良い交通
環境・生活空間の充実、安
全・安心な生活環境の実現、
災害に強いまちづくり)に
ついて説明を受けた。

【議員からの意見】

①6次産業(農産物の生産、加工、
流通・販売の一体化)例えば里
芋・イチジクを使用したものが
考えらる。

②複合商業施設の積極的な誘致が
必要と考えらる。

③安堵町への転入、安堵町からの
転出のきめ細かな分析を行うこ
とにより、人口増につなげられ
たい。

④人口増の施策の一環として役場
周辺、農協周辺の用途地域変更
により住宅開発も必要と考え
らる。

⑤案山子の活動(聖徳太子像を含
む)の継続については再考すべ
きと考えらる。

⑥「コミュニティバスの見直しによ
る全町内の利便性向上に向けた
積極的な取組が必要と考えらる。

以上の他にも数多くの意見が
出されましたが、抜粋した。
今後は、安堵町財政健全化計
画(令和元年〜令和5年の5年
間で赤字体質の脱却を図る計画)
に基づく諸施策と同時に協議を
重ねていくこととなりました。

6 次 産 業





増井 敬史

災害に強いまちづくり

笠目地区の水害時の避難場所について

問 笠目地区の水害時の避難場所は、トーク安堵カルチャーセンター等に指定されています。隣接の斑鳩町では、県立法隆寺国際高等学校や高安2丁目の斑鳩東小学校が斑鳩町の災害時の避難場所に指定されています。この施設を水害時や大規模災害時発生時の避難場所として利用できないのか伺います。

答 総務部長

奈良県内の市町村とは相互応援に関する協定を締結しています。災害時に、斑鳩町が県立法隆寺国際高校及び斑鳩東小学校を緊急避難場所又は避難所として開設している際には、一時的に避難することができます。ただし、法隆寺国際高校は、浸水想定区域内である為、洪水等の水害時は緊急避難場所の対象外となっています。

増井 弋鳥橋(笠目)を起点

に富雄川堤防道路を北上し、国道25号線に出て、あつみ台から南下してカルチャーセンターに至るまで4.9kmであったのが、斑鳩東小学校まで1.9km、法隆寺国際高校まで1.3kmに短縮されることになりました。

岡崎川堤防の舗装工事による強靱化

堤防両岸約4km舗装

問 岡崎川の堤防の道路が、奈良県郡山土木事務所により舗装される件について

て、その目的や工事概要・工期について伺う。

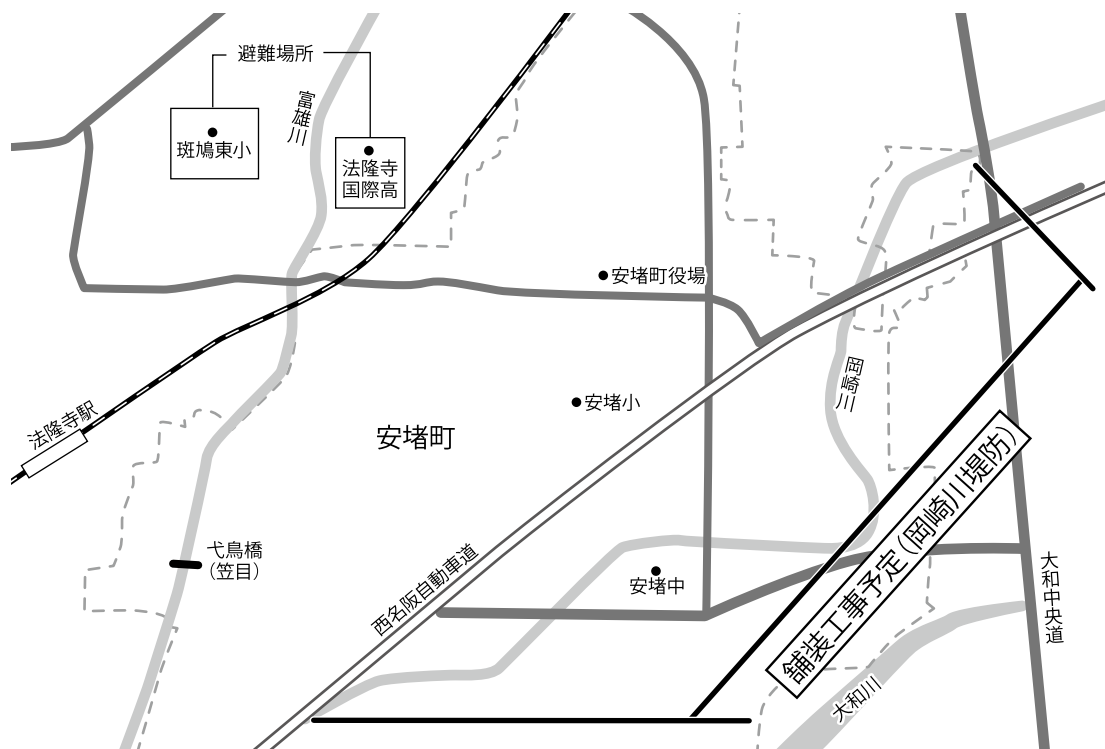
答 事業部長

近年、激甚化している災害により全国で大きな被害が頻発している状況です。平成30年に国土交通省が定めた「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づき、奈良県郡山土木事務所においても、岡崎川が想定以上の流量により洪水が発生した場合の対策として実施されます。

決壊までの時間を少しでも引き延ばし、越水による逃げ遅れの被害を大幅に軽減する為、堤防天端道路をアスファルト舗装により保護する堤防強靱化に向けて実施されます。

工事概要は、まほろばインター岡崎バイパス工事と岡崎の九十六石井堰の事業区間を除き、岡崎川両岸の未舗装区間全区間の舗装保護が行なわれる予定です。

工期は、10月に河川の草刈り工事を施工後に工事着手され、来年1月末迄の予定です。





まつだ まさる
松田 勝

ふるさと納税の拡大策は？ 役場職員が中心となった活動の強化を 新規の返礼品開発が必要



役に立っている「ふるさと納税」

**目標は500万円
 低すぎる目標額**

問 安堵町では今年度の目標を500万円と設定されていますが、その現状について伺います。

答 総務部長 現在、314万8千円の寄附がございます。概ね今年度の目標額は達成できると考えています。

問 毎年目標達成できることは望ましい事と思いますが、目標設定が低すぎると考えます。

答 今後、目標額を高めめに設定し、努力を重ねて行きます。

返礼品に工夫を

問 返礼品については一工夫必要と考えます。コロナ禍で帰省できない人のための墓掃除・墓参りや安堵の住民が作成した工作物を返礼品にすることを考えてはいかがですか。

答 その件については、今後の検討課題とさせていただきます。

住民と役場職員一体となった取組が必要

問 安堵町の住民が他の自治体に寄付されている額は把握されていますか。

答 400万円を少し超えています。

問 ふるさと納税による収入が300万円、支出が400万円では100万円の赤字となります。役場の職員が中心となった

具体的な活動と、住民への積極的な啓発活動をお願いします。

答 ふるさと納税の制度に対する取組については引き続き努力してまいります。

AEDの設置拡大を要望 小泉苑・笠目地区への設置が必要

公共施設に10台設置

問 安堵町での設置基準を伺います。

答 総務部長 設置基準は設けていませんが、公共施設に10台設置しています。

問 あつみ台、小泉苑、笠目地区への設置が必要と考えますが？

答 あつみ台(なでこ)に設置を予定しています。その他の地区は公共施設が無いので設置は考えていません。

松田 小泉苑、笠目地区への設置を要望します。



24時間利用可能なAED増設を要望

問 24時間利用可能なAEDは設置されていますか。

答 役場とダイコー株式会社の2台です。

松田 コンビニへの設置を依頼するなど、増設を要望します。



みうら ひろし
三浦 博

「新型コロナウイルス」
感染拡大防止対策
とPCR検査
促進策について

問 「新型コロナウイルス」感染症は収束どころか8月は、若年層の感染と無症状者が多く「市中感染の可能性」さえ言われています。

県は18の発熱外来医療機関を認定したと報道されました。そこで3点について質問します。

①「18の発熱外来認定医療機関名と所在地を教示願いたい。

②自治体独自でPCR検査機関の設置に取り組んで

いるところはありませんか。
③住民にとって最も身近な相談窓口は、かかりつけの医療機関と町の健康福祉課になります。感染症相談窓口の拡充を検討されているのか伺います。

答 健康福祉課長 ①「発熱外来認定医療機関」は、8月21日時点で49の医療機関が認定されています。名称・所在地は現在公表していません。

②自治体独自のPCR検査センターは、奈良市以外はありません。また検査については、「重症化予防目的」から「感染拡大防止目的」とした検査に切り替えられ拡大されています。

③相談窓口については、県において24時間体制で開設しています。町としては住民からの相談は、適切に対応し保健所や県へつなぐよう対応しています。町独自の相談窓口の設置は難しいですが、保健師が感染症の啓発と感染予防の周知を行っています。

三浦 感染予防・防疫対策の見地から、現在の西和7町共同の休日診療所をベースに発熱外来医療機関とPCR検査センターを設置する構想があってもいいのではないかと思えます。

また、PCR検査対象についても、「密」が避けられない職域従事者を対象にするなど、先手先手の対策を要望いたします。

個別の自治体の権限が限られている中ですが、住民に寄り添った相談窓口として対応していただくことを要望します。

「コミバスの利用
向上」取り組みと
今後の見通しについて



問 ①コミバス空白地域のタク

シー助成の利用状況と現状について

②住民の移動手段としてのバス交通の充実を掲げている。その具体策として「JR大和小泉駅」を起点に南北を走る路線を検討の対象にできないか。以上2点について伺います。

答 総務部長 ①タクシー助成について。

令和元年度は56件（前年比19件増）・助成券交付件数は13件（前年比14件減少）令和2年度はコロナの影響で10件の利用件数です。

②南北を走る新たな路線の検討は、町北部地域は比較的大和小泉駅には徒歩圏内であること。

現在のコミバスはJR法隆寺駅を起点にしており、利用者を二分するだけで効果が低いと判断しています。

問 タクシー助成事業についてどのように評価されているのか伺いたい。また南北路線の検討は困難との答弁ですが「創生総合戦略」「総合計画」では、安堵町

全体の交通空白地を解消する。コミバスの利用向上を図るとしています。計画最終年度は令和3年です。令和3年度を見据えた目標について伺います。

答 タクシー助成事業は駅までのニーズについて令和3年度には可能となるよう検討したい。コミバスについては、住民のニーズにより実施した施策であり最新のニーズを把握し、効果と費用を踏まえ次期計画に反映するよう検討してまいります。

三浦 安堵町の公共交通問題は、令和3年度で丸9年を迎えます。タクシー助成・コミバス空白地域を含めた公共交通網の充実は引き続き重要な課題と考えます。現在の住民のニーズについて改めて住民アンケートの実施を要望します。次期総合計画の重点目標として引き続き継ぐ事業とされることを要望します。

未来を見据えた
安堵町ICT教育
環境が着実に

問 コロナ禍対策実践の中、教育委員会の施策について。

①児童生徒の学力保障に向けた取組。

②学校教育施設の環境整備の進捗状況。

答 教育次長 ①文部科学省及び奈良県教育委員会のガイドラインを考察し、6月1日から通常授業を再開しました。

長期の休業措置で不足し



あさの 浅野 勉

た授業時間の確保のため、夏期休業期間を短縮し、学校行事の見直しを実施しました。

また、学校再開後は、登校時に児童生徒の健康・衛生管理に努められ、放課後には教室・廊下等の消毒作業等を実施しています。

浅野 この場をお借りして衛生管理作業にも携わっております。学校現場・教職員の皆様方に感謝を申し上げます。

問 ②について

②安堵小学校のトイレ改修事業が、コロナ対策臨時交付金も活用でき、本年度内に完了予定です。

③GIGAスクール構想展開のため、児童生徒用の学習端末機器410台の整備が進捗中です。

④本年から計画のあった安堵中学校の給食施設の調理能力を増強しました。2学期から「学校給食センター」として、小中学

校の共同調理を開始しました。

問 全国市町村教育長をアンケート対象としたコロナ禍の臨時休業による「小中学校の学習指導の進捗状況」についての調査回答は

「遅れている45.8%」

「遅れていない47.8%」と両極端でした。

しかし、改善措置等の工夫により年度内に学習内容を終了できるとの回答が9割を超えています。

安堵町の現況について伺います。

答 本年は、コロナ禍での対策を実施しながらの学校経営・学校運営を進め、授業時間の確保は、学校として最重要課題と考え、大きな学校行事である運動会、

体育祭、修学旅行等の中止や縮小の決断をしました。

ICT機器の活用を通じて、効果的な授業の改善を目指していきます。



デジタル機器(大型モニター)を用いた授業風景

浅野

今回の学校教育施設改善等の教育予算の拡充は、現在のコロナ禍に対応する実践能力の向上にもつながるものと4点の考察ができます。

①日々の保健・健康・安全教育への実践力が向上します。

②トイレ改修により、衛生設備の充実は、健康管理が改善します。

③給食施設の統合・改良は、「食育」の充実を目指し

ます。

④新時代の学習能力の向上をめざすICT教育環境の早期整備は、GIGAスクール構想に基づく学習環境が整います。

教育委員会によるハード面の整備と学校現場のソフト面の連携により、安堵町の教育基盤が充実します。

今後、新学習指導要領に基づく「人づくり」をお願いいたします。

小中一貫教育の必要性について

義務教育学校推進について第一歩



もり た ひとみ
森 田 瞳

問 学校教育法の一部改正（平成27年）により、義務教育学校設置の規定が追加され、翌年4月から施行した。

小学校、中学校が各一校の安堵町において、義務教育学校の導入は困難ではないと見受けるが、本町における構想について何う。

答 **教育次長** 人口減少、少子化の問題を考えると本町においても、中長期的には小学校及び中学校並びにこども園も含めた統合施設の検討も必要であると認識している。

問 小学1年生から9年の課程の区分とカリキュラム編成が柔軟にでき、また9年間途切れることなく、子供の個性を見守りつつ必要な支援ができていける中一ギャップも解消できるという心の通った豊かな教育が実現できるというメリットも

生じ得る。このことを鑑みたととき、どのように考えるか。

答 一人の校長のもとで体系的な教育を構築し、発達段階を見据えて柔軟に区分を設け、地域ごとに特色ある独自科目を設定することもできるという制度である。現実的には、少子化や施設の老朽化、統廃合の問題がこの制度の出発点になっている。

先に答弁したように統合



施設の設置の際には、義務教育学校への移行も視野に入れるべきものと考ええる。

問 令和2年とその30年前を比較すると、本町全人口は20%弱の減少に対し、小・中学生は約70%と著しく減少している。この現況で中学校のクラブ数が減少している現状に保護者達は大変憂慮されている。

今後の教育について町長の考えを伺う。



数少ないクラブの現状

答 **町長** これからは、9年間一人の校長のもとに授業をして子供達が育っていくことは大事なことを考える。例えば、今のコロナ対策にしても、遅れが出てもどこかで取り戻せるという良い仕組みだと思つ。

そして、特色ある教育を取り入れ、わが町のことを勉強してもらうのも可能となる。そうすると、あんな特色のある学校に行きたいなということから、安堵町に住んで、子供をこの町の学校に行かせようという考えとうまくかみ合えば、人口減少の歯止めにも有効と考える。

第5次総合計画の中に、義務教育学校を目指すという方針は組み入れていきたい。

森田 町長の前向きな考えは義務教育学校の推進に向けた第一歩と伺える。今後、より充実した町立学校となるよう期待する。

企業誘致による
住民雇用について

問 住民の雇用状況は。

答 事業部長 コーナン安堵店で13名雇用。

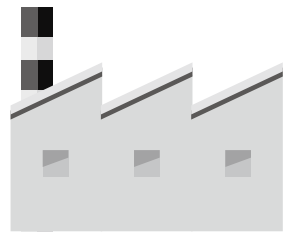
名鉄運輸奈良大和店は、0名。

問 求人募集方法は。

答 事業者が募集看板を現地に設置。

福井 今後、(株)レインボーリネンサプライ・岡崎地区の開発事業所等に

は、回覧・三宅町のように広報誌で周知を。



こども議会実施について

答 教育次長 平成27年3月議会に福井議員の一般質問により小学6年生による

社会科の「地方自治体や議会のしくみ」の学習時に、議場の見学学習をしている。

他町にできて、何故、安堵町にできないのか。

人事評価・職員配置は？

答 総務部長 平成27年に人事評価を導入、平成28年1月1日の定期昇給時から実施。

職員配置については財政健全化計画を基に適正な職員数・人員配置をし、人事評価も踏まえ適材適所の配置に努めてまいりたい。

福井 病気休暇、精神的な病気で長期に休む職員が多い。あとのフォローはされているか、話し合いは。

昇格がある以上、勤務態度等悪い者は降格も。正直者・一生懸命やっている者が馬鹿をみないよう人事評価を。財政健全化を進める以上、課の再編成・人事等ひっくるめて見直すべきだ。

町政10年の成果はさて？

答 町長 タウンミーティング・コミュニティバス・公共交通タクシー・定住促進を目的とした家賃補助・固定資産税の課税免除・火葬場利用補助・住民法律相談・安心メール配信・LRAD(エルラド)設置・中学校給食・小中学校施設改修(トイレの洋式化・エアコン整備)・こども園・学童保育の拡充・義務教育学校への検討・企業立地・県

道大和郡山広陵線の整備・遊水地事業・ごみ処理広域化等の推進である。

福井 もっと教育に力を。子供達が自由に運動や遊べる広い場所がない。オプジー案山子「聖徳太子」の衣装等、今後どうするのか。「コロナ禍は指導者のリトマス紙」と言われる。国のトップは頼りない。子供達に夢と希望を、そして職員の方皆さん、町民を守ってください。



お 福井 保夫

福井 町長・議員・公務員になって安堵町のために。選挙に興味、投票率アップに。小学生からみた町行政への意見。安堵町の子供達に、色々な経験を。



議員発議

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求め意見書

提出者 森田 瞳
賛成者 松田 勝
浅野 勉

国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるように、総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目につ

いても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。

- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税法系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
- 5 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先 衆・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・厚生労働大臣・他4大臣等

議会のつどひ

- 6月29日 総務産業建設常任委員会
- 7月8日 第2回広報編集部会
- 7月13日 第3回広報編集部会
- 7月16日 第4回広報編集部会
- 8月17日 議案事前説明会
- 8月21日 議会運営委員会
- 8月21日 議員勉強会
- 9月2日 本会議(開会)
- 9月3日 本会議(一般質問)
- 9月7日 一般会計決算審査特別委員会
- 9月8日 特別会計等決算審査特別委員会
- 10月10日 総務産業建設常任委員会
- 10月10日 第1回広報編集部会
- 10月11日 文教厚生常任委員会
- 10月16日 議会運営委員会
- 10月16日 議員勉強会
- 10月18日 本会議(閉会)
- 10月18日 第2回広報編集部会
- 10月27日 全員協議会
- 10月27日 第3回広報編集部会

次回の定例会関係(予定)

- 11月12日 議案事前説明会
- 11月18日 議会運営委員会
- 11月27日 本会議(開会)
- 12月3日 本会議(一般質問)
- 12月4日 総務産業建設常任委員会
- 12月7日 文教厚生常任委員会
- 12月9日 議会運営委員会
- 12月11日 本会議(閉会)

議会を傍聴しよう!!
安堵町議会

開会予定については、安堵町ホームページ
<http://www.town.ando.nara.jp/>

『安堵町議会』において随時
掲示しています。

お問い合わせ ☎ 57-1511(代表)
(議会事務局：内線 522)



議会だよりあんど 第34号 令和2年(2020年)11月1日発行 発行人 〒639-1095 奈良県生駒郡安堵町東安堵958番地 議会議長 福井保夫